

○むかふ

議会広報

平成30年11月発行



停電時にいち早く電力供給した双珠別ダム

No.
155

- 第3回 定例会 台風21号・北海道胆振東部地震、相次ぎ停電
村の財政は適正
決算特別委員会を設置
避難路第2ルートを調査など
- 〈一般質問〉 4議員
「とま～る」利用者拡大の取組みを
地域おこし協力隊員の定着は
村有住宅・公営住宅の環境整備と今後の対応
村の医療に対する考え方

定例会

台風21号・北海道胆振 東部地震、相次ぎ停電

災害により全道の物流、交通機関が影響を受ける中で平成30年第3回定例会は、9月10日・11日の2日間開催しました。議長挨拶と村長の行政報告で被災地・被災者への復興支援を表明しました。一般質問と条例の一部改正や一般会計補正予算などの審議が行われ、原案どおり可決されました。

(傍聴 10日3人 11日0人)

財産の取得

●戸籍システム一式

834万4080円

事務の迅速化を図り、更なる住民の利便性向上に資するため、戸籍システムを更新します。

(質疑)

問 システムの取得方法、機器の配置について詳しい内容を伺います。

小尾住民課長

（大谷議員）

荒資金組合から5年間で償還返済という形で購入します。この組合は自治体間で整備している組織ですので、有利な償還ができる仕組みとなっています。

機器の配置は、住民課及びトマム支所となっており、それぞれパソコン一式、プリンタを導入、また、住民課においては、別にサーバー、スキヤナが導入されます。

条例の一部改正

●占冠村税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、条例の一部を改正するものです。

平成30年度補正予算

(質疑)

【一般会計】

問 村営バス修繕料80万円の内容を伺います。（五十嵐議員）

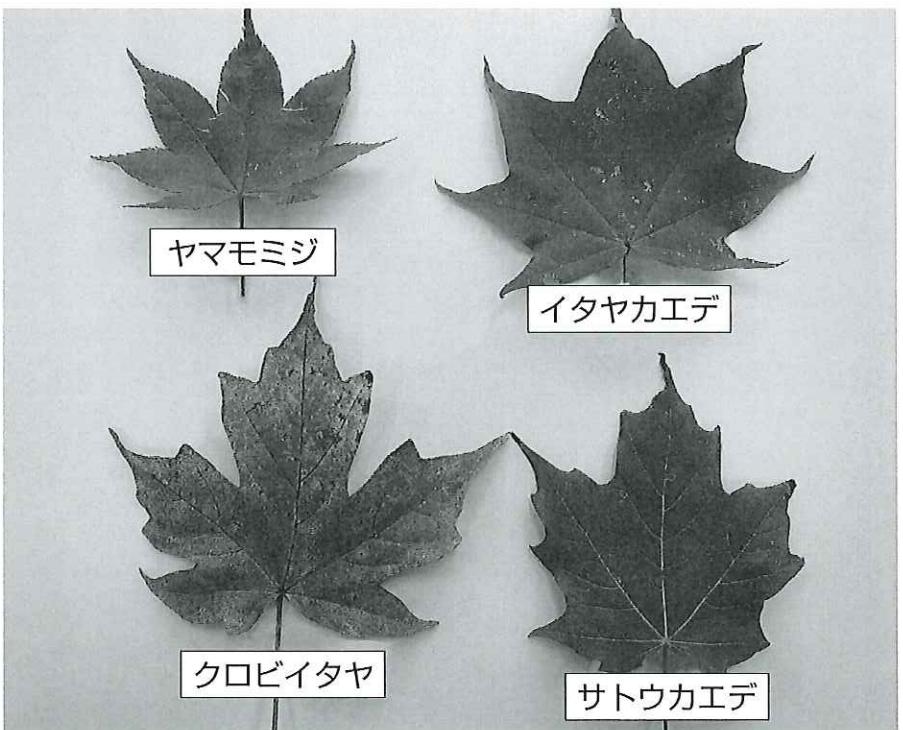
小林建設課長 トマム線で使用しているバスのパワーステアリングとクラッチを修繕します。

問 村の木活用事業委託料31万6千円の増、サトウカエデ植栽委託業務27万円の減の内容を伺います。（五十嵐議員）

今野林業振興室長 村の木活用事業委託料は、スープルシロップの新商品開発、販路拡大等で

増額しています。サトウカエデ植栽委託料は、当初カナダ産で計画していましたが、村内で採取したクロビイタヤや、東大演习林産のサトウカエデ（※）などの地元の木を育てていくこととしたため、減額しました。（※サトウカエデは、北アメリカ原産の外来種です）

トウカエデは概ね15年程度、クロビイタヤは15～20年くらいと考へています。当面は、二二ウの天然林で採取して製造していきたいと考えています。



第3回 定例会

問 ふるさとプロデューサー育成研修旅費助成金15万円増の内容を伺います。（山本議員）
今野室長 地域の產品をプランド化するための中核的人材育成事業研修を、現在メーブルシロップを進めている地域おこし協力隊員が受けるための旅費です。

問 AEDは今まで購入していますが、リース料を計上している理由を伺います。（山本議員）
多田総務課長 リース契約はバッテリー等の消耗品交換も含まれていて購入より有利なことから、リース料を計上しました。

問 インフルエンザ予防接種委託料45万4千円増の内容を伺います。（山本議員）
小尾課長 昨年の実績により、200人分を計上しました。

問 観光費の修繕料44万3千円の増額理由を伺います。（山本議員）
三浦企画商工課長 湯の沢温泉の源泉をくみ上げるためのポンプの修繕です。

問 住宅管理費の修繕料220万円の増額理由を伺います。（山本議員）
小林課長 第2美園団地の1棟の玄関前外部の柱の腐食が激しいため修繕を行う予定です。

問 保健体育総務費の修繕料20万円増の内容を伺います。（山本議員）
小林課長 使用済みの乾電池や蛍光灯を保管している勤労福祉会館横の車庫2棟を役場の庁舎裏に移設します。

問 電池等は、随時処分するのではなく、常時車庫に保管していません。（山本議員）
小林課長 地域の產品をプランド化するための中核的人材育成事業研修を、現在メーブルシロップを進めている地域おこし協力隊員が受けるための旅費です。



問 保育所新設工事基本・実施設計委託料は、まだ設計段階で、ワークショップも開催途中です。16万3千円が減額されています。（大谷議員）
木村福祉子育て支援課長 ワークショップは現在取り進めていますが、設計委託契約を締結ましたので執行残として減額しました。

問 保育所新設工事基本・実施設計委託料は、まだ設計段階で、ワークショップも開催途中です。16万3千円が減額されています。（大谷議員）
合田教育次長 スキー場第2リフトの非常用停止装置の配線修繕です。

問 万6千円の増額理由を伺います。（大谷議員）
小林課長 予算の範囲内で処分していました。車庫の移設に伴い、保管している電池、蛍光管1300kgを処分する予定です。

問 万6千円の増額理由を伺います。（大谷議員）
合田教育次長 スキー場第2リフトの非常用停止装置の配線修繕です。

問 万6千円の増額理由を伺います。（大谷議員）
木村福祉子育て支援課長 ワークショップは現在取り進めていますが、設計委託契約を締結しましたので執行残として減額しました。

問 万6千円の増額理由を伺います。（大谷議員）
木村課長 内容の変更があった場合でも、それを想定した契約内容となっていますので、契約額の変更はありません。



意見書を提出

村民の声を
国政の場に

○林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

森林の多面的機能を持続的に発揮し、林業・木材産業の振興と山村における雇用の安定化を図るために、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。また、森林資源の循環利用を通じて林業・木材産業の成長産業化を実現するため、地域の実情を十分に踏まえ、森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業体や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化することを要望する。

○教職員の長時間労働解消に向け、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)」の廃止を含めた見直しを求める意見書

教育職員の長時間労働解消に向け、実態と乖離している「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法」(給特法)の廃止を含めた見直しを行なうよう要請する。

○教職員の超勤・多忙化解消・「30人以下学級」の実現、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた意見書

義務教育費が無償となるよう、また、義務教育国庫負担金の負担率を1/2に復元すること。学級編成標準を順次改定すること。また、地域の特性にあつた教育環境整備・教育活動の推進、住む地域に關係なく子どもたちの教育を保障すること。保護者負担の解消、教育予算の十分な確保を行うこと。就学保障の充実に向け、国の責任において予算の十分な確保、拡充を図ること等を要請する。

村の財政は適正

平成29年度占冠村健全化判断比率は、表のとおり監査委員の審査を経て議会に報告されました。この比率は、全国共通の「モノサシ」で各自治体の財政の健全度を測るもので、村は財政健全団体に区分されました。

また、簡易水道事業特別会計、公共下水道事業特別会計においても資金不足額はありませんでした。

区分	村の比率 【昨年】	早期健全化基準
実質赤字比率	黒字 【黒字】	15.0%
連結実質赤字比率	黒字 【黒字】	20.0%
実質公債費比率	6.9% [6.4%]	25.0%
将来負担比率	9.5% [15.0%]	350.0%

※基準を越えた場合は「財政再生団体」となります。

第3回 定例会

平成30年度 補正予算 ～第3回定例会～	
一般会計（第2号）	1130万円増 総額25億4640万円⇒25億5770万円 ・第2美園団地柱修繕料の増など
国民健康保険（第2号）	320万円増 総額1億6960万円⇒1億7280万円 ・償還金の増など
簡易水道（第1号）	330万円増 総額1億410万円⇒1億740万円 ・人事異動に伴う給料の増など
下水道（第1号）	50万円増 総額1億970万円⇒1億1020万円 ・修繕料の増など
介護保険（第1号）	340万円増 総額1億600万円⇒1億940万円 ・償還金の増など
歯科診療所（第1号）	30万円増 総額2070万円⇒2100万円 ・診療用備品購入費の増

問 奨学資金寄附金20万円の増、福祉事業寄附金30万円の増額は、何名の方から寄附を受けたか伺います。
（長谷川議員）

答田教育次長 合田教育次長 奨学資金寄附金は、個人1名の寄附を受けています。

建設したいと申し上げました。その際に住民の同意を取るべきとのご意見もあり、建設地決定の内容を住民の皆様に周知しました。一連の内容で村長としての意思を表明しておりますので、ご理解をお願いします。

問 特殊無線技士養成課程受講負担金2万6千円増と関連し、役場の業務上必要とされる資格を伺います。
（長谷川議員）

答多田課長 多田課長 特殊無線技術士は、村の防災行政無線従事者の選任が必要であり、人事異動に伴い、担当者に取得してもらいます。

また、役場内の必要な資格で主なものは、水道の管理技術者、ごみ処理場の管理技術者です。

問 保健体育総務費の野外体育施設草刈・環境整備委託料47万円の減額理由と、使用していないます。

問 施設維持費の修繕料10万5千円の減額、備品購入費の発電機バッテリー購入の内容を伺います。

問 小林課長 小林課長 発電機バッテリーが修繕ではなく交換となり、備品購入費として計上し、また、占川の取水堰修繕を計上しました。発電機バッテリー購入は、双珠別浄水場の自家発電機用です。

問 小林課長 小林課長 発電機バッテリーが修繕ではなく交換となり、備品購入費として計上し、また、占川の取水堰修繕を計上しました。発電機バッテリー購入は、双珠別浄水場の自家発電機用です。

問 小尾課長 小尾課長 診察用具を再利用できるように、滅菌器を購入する予定です。

問 小尾課長 小尾課長 平成29年度占冠村一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定については、決算特別委員会（委員長・工藤國忠）を設置し、

検査権を付与して、これに付託のうえ審査することに決定しま

田中村長 7月26日開催の全員協議会にてアンケート結果に基づく総意で勤労福祉会館用地に建設したいと申し上げました。

木村課長 福祉事業寄附金は、個人1名の寄附を受けています。

藤本教育長 契約に係る執行残を減額しました。スキー場は、おらず、今後も活用する予定がないため、営林署と契約変更に向け協議検討を進めています。

問 小林課長 小林課長 下水道費修繕料37万円は、中央浄化センターの故障費用の推移は、今後も大きな変動はないと思っています。

問 小尾課長 小尾課長 下水道費修繕料13万円は、浄化槽の接続構造が入る装置です。浄化槽費修繕料13万円は、浄化槽の接続構造です。

問 小尾課長 小尾課長 平成29年度占冠村一般会計及び各特別会計歳入歳出決算認定については、決算特別委員会（委員長・工藤國忠）を設置し、

検査権を付与して、これに付託のうえ審査することに決定しま

した場合に電話回線を使って通

じを伺います。
（長谷川議員）

問 小尾課長 小尾課長 同じです。

<p

人事案件

○固定資産評価審査委員会

委員の選任同意
宇中央 稲田 實氏



稻田 實氏

○占冠村教育委員会教育長

の任命同意
宇中央 藤本 武氏 再任



藤本 武氏

村長の行政報告

①台風21号の対応と
被害状況

(対応)

台風21号は、暴風域を伴つた
まま、9月4日夜から5日朝に
かけて北海道に接近しました。

停電は、中央地区5時50分、
トマム地区7時32分に電力が復
旧しています。
倒木被害は、村有地において
2箇所ありました。人、建物への影響はありません。
農業被害は、1戸の農家で、
スイートコーン1万2千本が倒
伏、被害額は約120万円です。
物置のトタンの剥離が数件確認
されています。

9月6日3時8分に発生しま
した胆振地方中東部を震源とす
る地震は、本村において震度4
を観測しています。

地震発生後、ただちに管理職
及び職員を招集し、災害対策連
絡会議を設置し、情報収集、高
齢者の安否確認、避難所設置準
備等を行いました。

早急に避難を必要とする方は、
いませんでしたが、4時30分、



地震の対応

停電は、中央地区5時50分、
トマム地区7時32分に電力が復
旧しています。
倒木被害は、村有地において
2箇所ありました。人、建物への影響はありません。
農業被害は、1戸の農家で、
スイートコーン1万2千本が倒
伏、被害額は約120万円です。
物置のトタンの剥離が数件確認
されています。

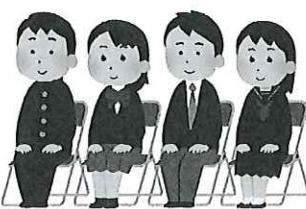
電力の復旧が遅れ、村の発電機
による最小限の動力確保をして
いましたが、9月8日午後10時
に電源車の配置により復旧して
います。

村有施設、村道等の被災、落
石等の被害、一般住宅の被害
が人等の人的被害の報告もな
く、各地で大きな被害が出てい
る状況の中で、本村への影響は
最小限であったと思われます。

4日19時33分に暴風警報が発
令されて以降、職員が役場で待
機し、5日3時48分の停電時に
は、関係管理職、職員を招集し、
在宅患者の状況確認、村内の被
害状況確認を行っています。

また、ニニウ地区については、
電力の復旧が遅れ、村の発電機
による最小限の動力確保をして
いましたが、9月8日午後10時
に電源車の配置により復旧して
います。

コミュニティプラザに避難所を
開設し、広報車、エリアメール
で周知を行い、非常食、水等を
準備し、避難者の受け入れ準備
を行っています。なお、中央、
トマム各地区において、避難者
はなく、電力復旧後8時30分に
避難所を閉鎖しています。



第1回コミュニティ・スクール議会を開催します。

住民に開かれた議会を目指して行われた議会改革の一環として、平成21年度から取り組んできた「住民と議会の懇談会」は、平成30年度から「コミュニティ・スクール議会」に移行します。

《日時》 11月9日(金) 午後1時30分～午後3時10分
《場所》 総合センター(役場庁舎) 3階 議場

【コミュニティ・スクール議会とは?】

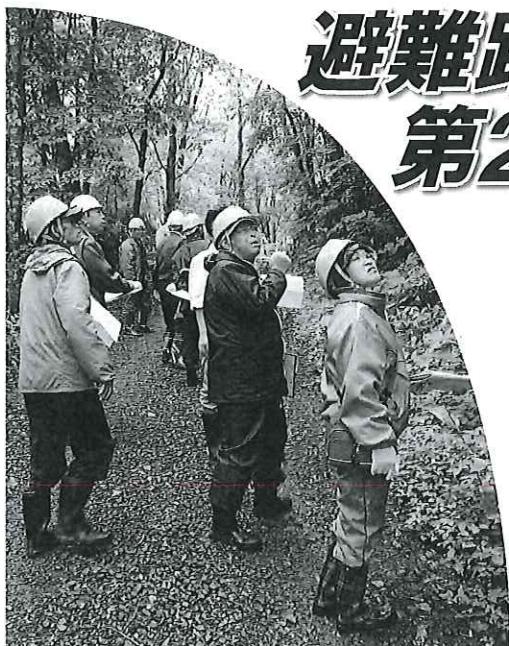
本村の占冠中学校・トマム学校の生徒が「コミュニティ・スクール議会議員」となって、議會議員や
関係各位と議論し合う議会です。「占冠村むらびと条例」第9条の規定を尊重し、子どもたちがむらづ
くりに参加することで、村に関心を持ってもらい、自分の夢、希望を織り交ぜながら村政・議会に対する
要望や質問を発表する機会を提供します。子どもの視点からの意見により議員の考え方も広がり、
今後の議会活動に反映させることを目的としています。

第9条 満18歳未満の青少年及び子どもは、それぞれの年齢にふさわしい村づくりに参加する権利があります。

傍聴につきましては、通常の議会と同じように傍聴できますので、お気軽にお越しください。

村内所管事務調査

(6月28日)



避難路 第2ルートを調査

調査は、村長・各担当者により現地説明を受け、次のことについて意見・要望しました。

避難路現地状況調査

今回調査箇所の避難道路設置は、河川が氾濫したことを想定して、備蓄庫等を整備してきた避難所（占冠中学校）に、自動車等で安全に避難できる第2ルートとして必要であるという認識で調査を進めている。

提言

○今回示されたルート案では勾配5%だが、勾配を若干見直す事により、延長も短くなり、

河川敷にからないルートも可能と推察するため、再度検討願いたい。

○調査箇所は、様々な制約、条件があるとの説明であつたので、整理された。

○予算との関係もあるので、上記事項を検討のうえ、概算調査費（予備調査、設計費含む）及び概算工事費を報告されたい。

広葉樹施業状況調査

鬼峠において、村有林の広葉樹施業を進めている現場を観察した。

提言

○林業六次産業化推進事業については、全体像を分かりやすい形で示されたい。

○各種データの算定については、現地の状況を勘案し、精度が高くなるよう工夫されたい。

○本事業については、進捗状況及び数値資料（数量や金額等がわかるもの）を定期的に、議会・住民に報告されたい。

活動報告

○北海道町村議会議員研修会

(7月3日)



札幌コンベンションセンターで開催され、議員7名が参加しました。歴史家・作家の加来耕三氏からは、「明治維新から150年、現在そして未来を考える」、日本大学法学部教授の岩井奉信氏からは、「現代日本政治と政局のゆくえ」という演題で基調講演がありました。

湯の沢温泉周辺施設状況調査

○保育所材製材工場視察
(7月12日)

旭川市東鷹栖の㈱齊藤工業所、当麻町のアイト産業㈱に議員3名が訪れ、新築予定の占冠保育所用の製材行程を視察しました。

○議会広報研修会

(8月22日)

札幌市で開催され、3名の広報委員が参加しました。広報コンサルタント芳野政明氏による講義とクリニックが行われ、住民の皆様に関心をもつてもらう紙面づくりを学びました。

道内所管事務調査

(7月2日)

● 1㍍1円の宅地分譲で

定住促進 (秩父別町)

まとめ

○秩父別町は定住促進を目的

に、旧小学校跡地を計画的に

低価格で分譲し、町の活性化

を図っている。

○平成23年度から合計38区画を

1㍍当たり1円で宅地分譲し

た。分譲地は完売し、29件の

建築実績となっている。「1

m²1円」というのはインパク

トがあり、実際の宅地価格に

換算すると130万円程度を

補助している形となっている。

○宅地購入者は、道内購入者は

子育て世代が購入しているの

に対し、道外購入者は60歳以

上の者が購入している傾向に

ある。

○様々な生活環境の充実施策も行っている。子育て支援については、出産祝金、水道基本料金全額助成、認定こども園保育料軽減等。移住定住支援については、結婚祝金、移住体験住宅の整備、同窓会助成、

家賃助成等。

○子育て支援の一環として、「こども屋内遊技場」や、日本一広い屋外遊技場「キューピックコ

ネクション」を整備している。

管理費等については、ふるさと納税を財源にしていた。

○交流体験農園は、都市住民と地域住民が交流する機会をつくり、地域活力の再生を図つ

て、宅地分譲地を購入し定住した実績もある。



小学校跡地を宅地分譲（秩父別町）

ている。この交流体験を通じて、宅地分譲地を購入し定住した実績もある。

（株式会社太田精器・奈井江町）

● モンスター・ウルフで害獣撃退

（株式会社太田精器・奈井江町）

総括及び課題

まとめ

様々な福祉施策や移住施策を組み合わせ、定住促進に繋げている。財源については過疎債を充当しており、建築をしばらく行わず、ソフト面での財源活用を重視している印象であった。

定住化促進に関しては、本村の地域特性を活かした、福祉、子育て支援（公園遊具等の整備も含む）、移住施策の充実に努める必要がある。また、移住希望者と村民との交流施策も有効と感じた。



こども屋内遊技場「ちっこる」

シカ、熊等の農作物被害対策として、LEDを利用した害獣撃退装置（モンスター・ウルフ）を調査した。

電牧柵や捕獲等での対策が主

であつたが、今回の装置は、赤外線センサーで

害獣を感じると光、動き、音で威嚇を与える装

置となつていて、

価格も比較的安い（1セット約40万円）であり、設置も容易である。

大学との連携で実証実験も行つていて、効果も確認されている。



本村には電牧柵が設置できな

い農地が多くあり、設置が安易

耐久性も高い今回の装置は被害対策の効果が期待できる。だが、デントコーン等の背の高い作物に関しては、設置場所の工夫が必要であると感じた。

今後は、担当課及び農業関係者から意見を聞き取り、今回の効果を説明し、実証実験や、農業者にとってより良い対策等を検討することが必要である。



五十嵐正雄議員

「とま～る」利用者拡大の取組みを

利用延べ回数				
年度	登録者	通い	訪問	泊まり
27	262 (21.8)	2,460	1,971	454
28	246 (20.5)	2,759	1,762	709
29	221 (18.4)	1,979	1,781	153
30	86 (17.2)	739	853	30

登録人員の定数24人()は月平均人員30度は8月末まで集計

暮らせるようにとの強い思いを持つて施設建設を進めると共に、施設を建設し、高齢者やその家族が少しでも安心してこの村で暮らせます。

村は、財政の厳しい中で福祉施設を建設し、高齢者やその家族が少しでも安心してこの村で暮らせます。

設「とま～る」は、多くの村民の期待を受けて、平成27年4月に供用開始されてから3年が過ぎました。住み慣れた地域の中で自分らしく安心して暮らすために、心を込めた支援、一人ひとりの心に寄り添い、皆が笑顔で過ごせるようゆとりある支援を基本理念として、通り、訪問、泊まりのサービスを提供しています。

設「とま～る」は、多くの村民の期待を受けて、平成27年4月に供用開始されてから3年が過ぎました。住み慣れた地域の中で自分らしく安心して暮らすために、心を込めた支援、一人ひとりの心に寄り添い、皆が笑顔で過ごせるようゆとりある支援を基本理念として、通り、訪問、泊まりのサービスを提供しています。

1 「とま～る」利用者 拡大の取組みを

小規模多機能型居宅介護施設「とま～る」は、多くの村民の期待を受けて、平成27年4月に供用開始されてから3年が過ぎました。住み慣れた地域の中で自分らしく安心して暮らすために、心を込めた支援、一人ひとりの心に寄り添い、皆が笑顔で過ごせるようゆとりある支援を基本理念として、通り、訪問、泊まりのサービスを提供しています。

1 「とま～る」利用者 拡大の取組みを

運営にあたる社協職員体制を確立してきました。年々登録者が減少し、通り、泊まりの利用者が減少しています（※表1）。利用者拡大に向けた取り組みを行っています。

田中村長 村は2か月に1度、占冠村小規模多機能型居宅介護施設運営協議会を開き、利用者実績の確認し、利用者拡大について話をしています。また、月1回行っている地域ケア会議で情報共有を行っています。

さらに、社協では「とま～る夏祭り」や「とま～るだより」の発行を行うなど、各種のアピールを行っています。

一時利用ができるなど周知を進めよう協議していきます。住み慣れた地域で、安心して過ごせることが大事と考えます。

2 役場庁舎前駐車場の舗装修理を



供用3年目の「とま～る」

設、職員を生かしていくためには、「とま～る」供用開始時の基本理念に立ち返り、通り、訪問、泊まりの利用者拡大に向け、村・指定管理者である社協が共通の認識を持つて、利用者拡大に取り組むべきと思いますが、村長の考え方を伺います。

田中村長 村としては、社協と連絡を密にして、きめ細かくサービス内容の説明を行いながら利用者増につなげていきます。また、受け入れ窓口を広げるため、村民であれば介護認定を受けていない方であっても

立してきました。年々登録者が減少し、通り、泊まりの利用者が減少しています（※表1）。利用者拡大に向けた取り組みを行っています。

運営にあたる社協職員体制を確立してきました。年々登録者が減少し、通り、泊まりの利用者が減少しています（※表1）。利用者拡大に向けた取り組みを行っています。

2 役場庁舎前駐車場の舗装修理を

立してきました。年々登録者が減少し、通り、泊まりの利用者が減少しています（※表1）。利用者拡大に向けた取り組みを行っています。

運営にあたる社協職員体制を確立してきました。年々登録者が減少し、通り、泊まりの利用者が減少しています（※表1）。利用者拡大に向けた取り組みを行っています。

立してきました。年々登録者が減少し、通り、泊まりの利用者が減少しています（※表1）。利用者拡大に向けた取り組みを行っています。



山本敬介議員

地域おこし協力隊員の定着は

1 地域おこし協力隊員の定着と事業化は

問 わが村の地域おこし協力隊の活躍は、とても先進的であり、新聞などで多く取り上げられ住民も関心を寄せています。

田中村長 協力隊の制度の主旨とこれまでの受け入れ実績を伺います。

答 都市に住む者が最長3年間地域に居住し、地域おこしの支援や農林水産業への従事、住民の生活支援などの活動を行なながら、定住・定着を図るというのがこの制度の主旨です。

占冠村では平成22年度から林業振興室で6名を採用し、3名が任期を終えて、内2名は村職員等として定住しています。

企画工課は、7名を採用、3名が任期を終えて、内1名が農業者として定住しています。

問 それぞれの協力隊の年間費用について伺います。

田中村長 メープルシロップ担当隊員の年間費用は、512万3千円で、これは隊員の報酬、社会保険料、研修旅費、消耗品、車両リース料、燃料代、保険料、住宅使用料などが入っています。トマム集落支援の隊員は、年間費用432万4千円です。

財源は、400万円が特別交付税として国から措置されますが、それぞれ400万円を超過した経費は村の一般財源です。

問 協力隊の事業は、国の支援が終わつた後が重要です。

田中村長 メープルシロップ事業は、協力隊員を中心へ委託先の木質バイオマス生産組合と連携し、メープルシロップの生産、アイスやビネガーなどの新商品開発、メープル収穫祭の企画運営、新たな販路拡大などに積極的に取り組んでおり、地域ブランドとして内外に認知されつつあると感じています。

トマム集落支援は、地域.JFrame「ミナ・トマム」の管理人サポート、トマム学校の外国人児童の通学等支援、学童保育への協力、消防委託団員の補助、中央小学校でも土曜学習、キッズスペースの支援など、社会教育や学校教育で欠かせない重要な役割を担っています。

問 トマム集落支援は、今後、隊員の「住み続けたい」という意思をどのように形にするのか、地域一丸となつて考えていく必要があります。

現在、7名の協力隊が活動しているですが、若者の未来を預かっているという責任をどのように果たしていくのか伺います。

田中村長 協力隊が培つた知識とノウハウは、村にとつてかけがえのない財産です。貴重な人材を流出させるのは、大変もつたいないと考えています。

ただ、任期満了後に村内で起業し、継続していくことは市場規模などから大変困難と認識しています。隊員の任期終了年の起業に関する100万円の特別交付税を予算化し、綿密な相談体制を作りながら物心両面でフォローしたいと考えています。

問 河川公園の有効利用策として、マウンテンバイク等のコース設置やドッグランなどのアイディアを柔軟に取り入れていくべきだと思いますが、伺います。

田中村長 河川公園の利用は、基本的に施設の形状を変更したり、固定した施設、建物等を建てない限りは定められていませんので、活用方法について、村民の皆さまの意見も聞きながら、検討していきます。



村有住宅・公営住宅の 環境整備と今後の対応



大谷元江議員



放置されている村有住宅

2 ハザードマップの

整理と見直し

問 台風、地震と自然災害が頻

田中村長 財源を確保しながら
計画的に取り壊すように考えて
いますが、取り壊しが完了する
までの間は、草刈り、屋根の除
雪等周辺の環境整備に努めてい
きます。

繁に襲つてきていますが、占冠村でハザードマップが全戸に配布されたのは10年近く前になります。新しく転入された方に配布されているのか伺います。

3 アライグマ対策

問 アライグマの出没で農家、家庭菜園をされている方が大きな被害を受けています。空き家も冬ごもりの居住地になつていると思いますので、対策等をどう行うのか伺います。

田中村長 村としても脅威に感じていて、野生鳥獣専門員を中心的に現地確認、箱罠の設置、補殺を実施しています。また、電牧の設置補助、獵友会の協力依頼、村広報での情報提供及び情報収集のほか、アライグマ防除計画を策定しまして、箱罠設置にかかる研修、それから箱罠の貸出しを行い、捕獲体制の強化に努めています。



村の医療に対する考え方

問 新聞の赤字報道記事に、富良野市長の談話として「今後、自治体による支援が必要になるかも知れない」とあります。長谷川耿聰議員

田中村長 赤字について説明がございました。医師不足により出張医が多くなり、経費が増加するとともに診療科目の減少により受診者も減ったことが大きな原因と考えられ、経営改善と医師確保に取り組んでいく方向性が確認されました。

田中村長 医師不足については連携して医師確保に取り組む

と連携して医師確保に取り組むということですが、本村でも大変苦労した経緯があり、あまり現実的ではないと思います。村長の考えを伺います。

田中村長 医師不足については連携して医師確保に取り組むことと連携して医師確保に取り組むことは本村でも大変苦労した経緯があり、あまり現実的ではないと思います。村長の考えを伺います。

田中村長 医師不足については連携して医師確保に取り組むことは本村でも大変苦労した経緯があり、あまり現実的ではないと思います。村長の考えを伺います。

田中村長 医師不足については連携して医師確保に取り組むことは本村でも大変苦労した経緯があり、あまり現実的ではないと思います。村長の考えを伺います。

田中村長 赤字について説明がございました。医師不足により出張医が多くなり、経費が増加するとともに診療科目の減少により受診者も減ったことが大きな原因と考えられ、経営改善と医師確保に取り組んでいく方向性が確認されました。

田中村長 市長の真意は分からぬということです。広域救急医療対策事業・初期救急医療確保対策事業・小児救急医療支援事業の3つの負担金が村の負担と考えています。これ以外のものについては、現在のところ考えていないということです。

田中村長 かかりつけの病院が最近では札幌、旭川、帯広、千歳など多彩になっています。救急医療についてもドクターヘリの活用により変化が表れています。村は石勝線の開業、道東道の開通により道路交通網が整備されたことで受診体系も変化したと考えられています。富良野協会病院との関わりも変えていかなければならぬ時期にあると思いますが、村長の考えを伺います。

田中村長 かかりつけの病院が最近では札幌、旭川、帯広、千歳など多彩になっています。救急医療についてもドクターヘリの活用により変化が表れています。村は石勝線の開業、道東道の開通により道路交通網が整備されたことで受診体系も変化したと考えられています。富良野協会病院との関わりも変えていかなければならぬ時期にあると思いますが、村長の考えを伺います。

田中村長 協会病院の赤字に関する問題で、富良野地域センター病院運営委員会を開催し議論した内容を伺います。

田中村長 話の真意は図りかねますが、村として協会病院の基本的経営に関する助成を行うことは考えておりません。

田中村長 トマムリゾートに企業医を設置してほしい、トマム診療所の診療拡充を進めてほしいという要望がトマム住民から出ています。トマムの医療体制をどうに進めていくのか伺います。

田中村長 トマムリゾート独自の企

1 村の医療に対する考え方

どのような支援を想定するか伺います。これが村の立場と考えています。

田中村長 談話の真意は図りかねますが、村として協会病院の基本的経営に関する助成を行うことは考えておりません。

田中村長 トマムリゾートに企業医を設置してほしい、トマム診療所の診療拡充を進めてほしいとい

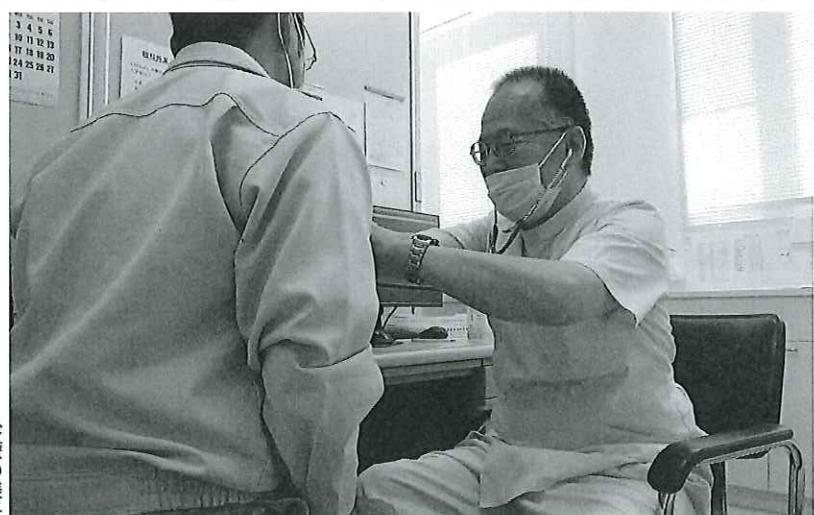
う要望がトマム住民から出ています。トマムの医療体制をどうに進めていくのか伺います。

田中村長 企業と協力して常駐の医師を配置し、診療所の運営を行えるのが理想と考えています。今後、定期協議等で協議していくたいと思います。

田中村長 根本的な解決は企業と協力して、トマム診療所に医師を配置することだと思います。村長の考え方を伺います。

2 トマムの医療体制

根本的な解決は企業と協力して、トマム診療所に医師を配置することだと思います。村長の考え方を伺います。



診療の様子

議会の主なうごき

平成30年第2回定例会(6月15日)以降の議員の動向

- 6月15日(金) 全員協議会(各議員) / 議員協議会(各議員) / 広報特別委員会①(各委員)
25日(月) 富良野地域縦断「無事故の日」旗の波リレー作戦(各議員)
28日(木) 総務産業常任委員会村内所管事務調査(各委員) / 広報特別委員会②(各委員)
7月 2日(月) 総務産業常任委員会道内行政視察(秩父別町、奈井江町 - 各委員)
3日(火) 全道町村議会議員研修会(札幌市 - 各議員)
4日(水) 自治功労者追悼式、戦没者追悼式(各議員)
9日(月) 広報特別委員会③(各委員)
11日(水) 平成30年度夏の交通安全運動啓発(各議員) / 本間勲と語るタベ(富良野市 - 議長)
12日(木) 保育所材製材工場視察(旭川市、当麻町 - 各議員)
20日(金) 広報特別委員会④(各委員)
24日(火) 平成30年度飲酒運転根絶キャラバン(議長)
26日(木) 全員協議会(各議員)
30日(月) 陸上自衛隊上富良野駐屯地幹部異動に伴う送別会(上富良野町 - 議長)
31日(火) トマム夏祭り(各議員)
8月 4日(土) ふるさと祭り前夜祭(各議員)
5日(日) ふるさと祭り(各議員)
6日(月) 陸上自衛隊上富良野駐屯地幹部異動に伴う歓迎会(上富良野町 - 議長)
8日(水) 全道林活議連定期総会(札幌市 - 大谷議員)
16日(木) 根室本線対策協議会(富良野市 - 議長)
17日(金) 平成30年度占冠地区獣魂・鎮魂祭(各議員)
20日(月) 上川教育センター組合議会第2回定例会(旭川市 - 議長) / 連合盆踊り大会(各議員)
22日(水) 全道議会広報研修会(札幌市 - 各委員)
24日(金) 総務産業常任委員会(各委員) / 若手職員と議会議員の座談会(各議員)
9月 1日(土) 第49回ふれあい広場(各議員)
3日(月) 議会運営委員会(各委員)
4日(火) 4路線(宗谷線、石北線、根室線、富良野線)合同説明会(旭川市 - 議長)
8日(土) 占冠中学校学校祭、トマム合同学芸会(各議員)

【富良野広域連合関係】

- 6月27日(水) 定例監査(富良野市 - 長谷川議員)
7月 4日(水) 決算審査(富良野市 - 長谷川議員)
12日~13日 全国都市監査委員会総会(福井県 - 長谷川議員)
8月 6日(月) 決算審査(富良野市 - 長谷川議員)
29日(水) 決算審査意見聴取(富良野市 - 長谷川議員)

議会はどなたでも気軽に傍聴することができます

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



今後の
予定

12月定例会→12月13日(木)・14日(金)

※いずれも午前10:00開会
※議事内容等により、日程が変更する場合があります。

▼議会広報特別委員会(後期)
委 員 員 長
委 員 員 長
副 委 員 長
佐 山 五 十 歳
野 本 一 敬 正 耿
紀 介 雄 聰

話す機会がありました。引率の教官からは、何でも質問してくださいとのことでしたが、何を話していくか分からず、素朴な質問で、何故看護師を目指したのかとの問い合わせに、彼女は、以前身内の入院時、病魔に侵され不安なときに、一緒に頑張ろうと笑顔で背中を押してくれた看護師の使命感の中で頑張る姿が、看護師を選んだ理由ですと答えてくれました。今、超高齢化社会を迎える時、この実習生たちが立派な看護師になれるこことを心より期待し願っています。(佐野)

後編集

体調を崩し、
ある病院に入院
した時、実習に
来られた看護学
校の1回生とお

〈〈議会広報や議事録全文は村ホームページでご覧になります。〉〉

発行：占冠村議会 責任者・編集：議会広報特別委員会
〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184 URL <http://www.vill.shimukappu.lg.jp>